



主イエスを受けいれる者

だから人の前でわたしを受けいれる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受けいれるであろう。(マタイによる福音書10章32節 口語訳)

にし はし なお ゆき
西 橋 直 行

マタイによる福音書10章では、主イエスが十二人の弟子を選び、汚れた霊に打ち勝つ権威を与えられ、山上の説教に次ぐ第二の説教が語られます。そして、彼らは、町々、村々に派遣され、神の支配がきたことを宣べ伝える使命を与えられます。わたしたちの教会の伝道もここに始まったのではないのでしょうか。使徒たちはさまざまな迫害を経験します。その苦難の中であって忍耐して勇気をもって進まねばなりません。

「わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである」(16節)、「人々に注意しなさい。彼らはあなたがたを衆議所に引き渡し、会堂でむち打つであろう」(17節)と主は警告されます。しかし、苦難を恐れて沈黙して妥協するのではなく、ひるまずに信仰を告白し続けなければなりません。さらに「最後まで耐え忍ぶ者は救われる」(22節)と約束されるのです。

ここでは「恐れるな」という言葉が三度繰り返されています。「だから彼らを恐れるな。おおわれたもので、現れてこないものではなく、隠れているもので、知られてこないものはない」(26節)。「からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れるなさい」(28節)。「それだから、恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である」(31節)。

どのような困難に直面しても、神以外の者を恐れることはないのです。「恐れるな」と励ましてくださる主が共にいてくださるのです。

さらに、主イエスは「人の前でわたしを受けいれる者を、わたしもまた…受けいれる」(32節)と言われます。この「わたしを受けいれる」というのは、「わたしを認める」「わたしを神の子、救い主と認める」ということです。また、「信仰を言い表す」「讚美する」ということです。主を誉め称え、救い主として認め、信じ、心から受けいれるということなのです。「信仰を持つ」ということは、その根本は、^{ただひと}唯一つ、主イエスを認め、誉め称えることです。主が受け入れてくださるときに、わたしたちは、主にすべてを委ねて、主の御跡に従って力強く生きることが出来るのです。わたしたちは、生かされているこの現実と、未来の不安の不透明を嘆くことはありません。主が先立って進んでくださるからです。

日本キリスト教会大信仰問答の制定が、今日、わたしたちの教会でとても大事なことであり、その必要性が次のように語られています。

「日本キリスト教会が生ける神の言葉を、生き生きと、豊かに、さらに深く、十分に言い表し、それを教えていく教会、告白教会になっていくためにどうしても必要なことと考えられます」。

この大信仰問答に親しみ、神の言葉を生き生きと告白し、どのような苦難のなかにあっても、神の栄光を現す希望を見失わず、教会の内外の諸問題に対処したいと思います。そして、地上においても、天上においても、すべてのものが主イエスのとりなしによって、祝福と、恵みにあずかるように、ひたすら神の御霊の導きを祈り求めたいと思います。

(東京中会教師)

説教	主イエスを受けいれる者	……	西橋 直行	……	1
教会の課題	中会の交わりの中で学び、成長するために	……	青木 豊	……	2
旧約聖書に聴く	「コヘレト『わたしは王』」	……	片野安久利	……	3
信仰問答を学ぶ	「教会を活かす聖霊」(4) - 聖霊の証し、わたしたちの伝道 -	……	多田 滉	……	4
目次	教会、この地とともに⑨ 宇都宮松原教会 神の救済史の一コマを	……	渡部 静子	……	5
書評	「長老制とは何か」	……	後藤 憲正	……	6
み言葉に照らされて	神はかけた器をも用いて下さる	……	栗林 ミチ	……	7
こいのにあ	「今までどおり」から一歩踏み出す時	……	森下真裕美	……	7
スイッチインタビュー④	青年への返信 秘められたもので、公にならないものはない	……	小林 宏和	……	8
	南穆先生追悼文 再会を待つ	……	登家 勝也	……	8